

事業名	専門技術調査活動費			調査番号	93
細事業名	先端技術調査活動費	財務コード	063501		
担当部課室	農政 部 農業技術 課 普及教育・資金 担当 (内線)	5355			

I 事業の概要

実施期間	始期 S30 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	農業分野における難易度の高い調査課題	調査研究や実証ほ設置による検証で解決し、新たな技術として普及する	農業者の経営安定
内容	<p>農作物に関する重要課題(調査すべき課題)に対し、農務事務所の普及指導員が中心となって調査研究活動を通じた課題解決により、農業経営の安定を図る。</p> <p><調査研究活動の流れ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緊急性や深刻度等を勘案し、毎年度異なる調査研究課題を設定 2 「実証展示ほ」*1を設置し、運営を行い農作物における調査・分析を実施 3 調査・分析終了後、研究成果として成果報告書及びマニュアルを作成 4 研究成果としてのマニュアル完成から、地域毎に異なる気象状況、栽培環境などに応じた実用的技術としての普及段階のマニュアル化に2~3年を要する。 <p>*1:「実証展示ほ」とは、省力化や高収益化など新しい栽培技術を、地域の先進的な農家は場で実証し、講習会を開催して、その栽培過程を農家に見せ、効果的に地域農家に普及する普及活動手法のこと。</p>		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	実証課題数	目標	3	3	3	3	3	3
		実績(見込)	3	3	3	3	3	3
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	技術確立課題数	目標	1	1	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1	1	1
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		302	241	170	301	302	302	302

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	モモ「枯死症対策」、モモ「夢みずき」、スイートコーンの低温障害軽減技術の3課題について解題の解決に取り組んだ。
成果指標	b		上記スイートコーンの課題は、マニュアル化でき技術確立され、普及段階となった。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	試験研究成果が出ていない喫緊の課題に、いち早く取り組むことで農家の経営安定につながる技術を普及することができる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (取り組み課題数及び実施の手法は、現場のニーズと普及指導員活動体制からみて適切なものと判断する。)
その他	説明	
見直しの必要性	無	本事業において、現場のニーズを捉えた調査活動を実施し、栽培上の解決困難な課題を解消する成果をまとめた技術情報をマニュアルを用い、普及活動に活用して農業者の経営安定に資する。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。